

**「都市計画マスタープラン見直し原案」の
説明会**でのご意見の要旨及び市の考え方

ご多忙にもかかわらず、市民センター等での説明会、及び、出前説明会にご参加いただき、また多くの貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。

当日、口頭でいただきましたご意見・ご質問につきまして、改めて下記のとおり市の考え方をお示しいたしますので、ご一読くださいますようお願いいたします。

なお、ご不明な点等がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

平成27年(2015年)3月

お問合せ先

吹田市役所 都市整備室

担当：清水、武田

TEL:06-6384-1968

FAX:06-6368-9901

mail:tosiseib@city.suita.osaka.jp

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
① 千里丘市民センター 平成27年1月24日(土) 14時～16時			
1	万博周辺	万博記念公園周辺のエキスポ跡地複合施設及びスタジアムの建設について、多くの自動車の集中によりCO2排出量が増加するのではないかと。	当該事業につきましては、「吹田市環境まちづくり影響評価条例」に基づく本市独自の環境アセスメント手続きにおいて、温室効果ガスによる周辺環境への影響をできる限り軽減するような取組が事業者から示されるとともに、市長意見書を事業者に示し、交通混雑の緩和や省エネルギー、ヒートアイランド対策など、約140項目の環境に配慮した取組を実施させています。また、工事中と完成後に、環境への影響が当初の予測どおりか調査させ、確認することとなっております。今後も、このような大規模開発事業に対しては、「5-3快適な都市環境の創造」にお示ししている方針に沿って、同条例などに基づき、環境に配慮した取組の誘導を図ってまいります。
2	防災	地震がいつ起きてもおかしくない中、傾斜地の安全性確保など、防災性の向上を図るべきではないかと。	「4 災害に強いまちづくり方針」にお示ししているとおり、地震や火災、土砂災害、洪水など様々な災害に対しては、「地域防災計画」との連携のもと、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
3	景観	千里丘駅前の駐車禁止のポールや路面標示等、景観に配慮したものにしてほしい。	「6-3調和とめりはりのある景観の創出と育成」にお示ししているとおり、「景観まちづくり計画」と連携し、それぞれの道路の性格に応じて街路樹の植栽、電線類の地中化や歩道のデザインの工夫など、魅力ある道路景観の形成に努めてまいります。
4	道路	岸辺駅へのアクセス性を向上させるため、なかなか工事の進まない豊中岸部線をやめて、別途検討すべきではないか。	都市計画道路豊中岸部線につきましては、ご指摘いただきましたとおり現在未整備の区間があります。このような都市計画道路の未整備区間については、「2-1道路・交通施設(2)」にお示ししているとおり、計画的な整備を進め、隣接都市間や拠点市街地を連携する道路ネットワークの形成に努めてまいります。
5	公共交通	万博記念公園への公共交通機関によるアクセス性を向上させるため、大阪モノレールとJR東海道本線とを結節させるべきではないか。	ご指摘いただいたように、大阪モノレールが国土軸に位置するJR東海道本線と結節していない現状につきましては、公共交通機関のネットワークにおける課題の一つとして認識しているところです。こうした中、「2-1道路・交通施設(3)」にお示ししているとおり、岸辺駅及び正雀駅周辺のポテンシャル向上や大阪市北東部からのアクセス性の強化、また、本市の広域軸との結節による新たな拠点間のネットワークの形成をめざし、地下鉄今里筋線の延伸に向けた取組を促進してまいります。
6	子育て	幼稚園や保育所などの子育て施設については、地域ごとに均等になるようにしてほしい。	都市計画マスタープランは、まちづくりの長期的な目標や方向性をお示しするものであり、具体的な施策については、総合計画や都市計画マスタープランの方針に沿って、今後、各担当部局が、それぞれの個別計画や実施計画に基づき実施していくことになります。なお、子育てに関連する施設につきましては、「2-4その他の都市施設(4)」や「7-1福祉のまちづくり」にお示ししているとおり、子育てしやすい環境づくりをめざしてまいります。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
7	最適化	コミュニティ施設や公民館、市民センターなど、類似の施設を整理するとともに、EVの設置などのバリアフリー化を進めてほしい。	本市では、平成26年3月に「公共施設最適化計画【方針編】」を策定し、学校や保育所、公民館などの一般建築物について、最適な整備、再配置、維持保全などを行い、最適化を推進していく際の基本方針と取組方策をお示したところです。 今後は、同計画【方針編】に基づき、「公共施設最適化計画【実施編】」を策定し、持続可能なまちづくりの実現に向けて、公共施設の最適化に取り組んでまいります。
8	無電柱化	災害時の迅速な復旧を考えると、電線類の地中化を進めない方が良いのではないか。	ご指摘いただいた点につきましては、電線類の地中化を進める上での課題の一つとして認識しているところです。 一方で、「4-1市街地の防災性向上」にお示ししているとおり、災害時における道路機能、有効幅員の確保が重要な課題の一つであることから、実施にあたりましては、ご指摘いただいた観点とともに、道路の特性や位置づけに応じた検討が必要になると考えております。
9	防災	地域の避難場所と市が決めている小学校や公民館などの避難場所とを整合させるべきではないか。	吹田市・吹田市自治会連合協議会合同防災訓練においては、自治会で決めたいただいた「緊急避難集合場所」にて災害時要援護者の安否確認や避難人数確認などの訓練を実施したところです。 このように地域の皆様によって安否確認などを実施する「緊急避難集合場所」とは別に、吹田市では余震などの二次災害に備えて自主的に避難していただく学校のグラウンド等の「一時避難地」、大規模な火災に備えて避難誘導する「広域避難地」、家屋が全半壊した時など一定過ぎしていただく「避難所」などを指定しています。これらの施設には「表示板」を設置し、平成24年3月に全戸配布した「防災ハンドブック」にお示ししているところです。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
10	防災	ハザードマップでは、洪水発生時の避難場所が山一小学校になっているが、川より低い位置にあるため見直すべきではないか。	河川が氾濫する危険性が高まった際の避難場所として「洪水時避難所」を指定していますが、本市では浸水する前に避難を呼びかけます。 既に浸水しているなど危険な状況のなかでの避難はできるだけ避け、建物の倒壊がないと判断される場合には、自宅や近隣建物の2階以上へ緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討するなど、安全の確保を第一に考えてください。（詳しくは吹田市洪水避難地図/洪水ハザードマップをご覧ください。）
11	万博周辺	万博記念公園のみどりをこれ以上減らさないでほしい。	万博記念公園につきましては、「都市空間の将来像図」にみどりの拠点としてお示しするとともに、「2-2公園・みどり」にお示ししているとおり「みどりの基本計画」に基づき、みどりのまちづくりを推進してまいります。
12	活動支援	「地区まちづくり構想」の策定にあたり、地域で進めるまちづくり活動に必要な費用については補助してほしい。	「地区まちづくり構想」の策定にあたっては、市から職員や専門家を派遣するなど支援を行ってまいります。
13	回答	「見直し素案」への意見に対する市の考え方について、「みちづくりを推進します」といった抽象的なものではなく、具体的に回答してほしい。	都市計画マスタープランは、まちづくりの長期的な目標や方向性をお示しするものであり、具体的な施策については、総合計画や都市計画マスタープランの方針に沿って、今後、各担当部局が、それぞれの個別計画や実施計画に基づき実施していくことになります。そのため、ご意見に対する市の考え方として、「見直し素案」に位置付けた方針、方向性についてお示したところです。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
14	地域特性	千里丘地域の位置づけをきちんと示してほしい。	地域特性を生かしたまちづくりを進めていく上で、それぞれの地域の現状や様々な課題を踏まえる必要性については認識しているところです。 「見直し原案」では、第3章でテーマ別の方針に加え、拠点となる市街地のまちづくり方針や、戸建専用住宅や地形に起伏のある地域のまちづくりなど、地域特性を生かしたまちづくり方針をお示ししています。 また、住民の皆様がより身近な範囲のまちづくりを進めることができるよう、街区や町内、小学校区など適切なまとまりのある地区において、将来像やビジョンなどを位置付ける新たな「地区まちづくり構想」制度を創設するなど、地域特性を生かしたまちづくりを推進してまいりたいと考えております。
15	道路	千里丘朝日が丘線はいつ整備されるのか。	「2-1道路・交通施設（2）」にお示ししているとおり、都市計画道路の未整備区間について計画的な整備を推進します。なお、具体的な事業の実施時期については、総合計画や都市計画マスタープランの方針に沿って、今後、各担当部局が、それぞれの個別計画や実施計画に基づき実施していくことになります。
16	万博周辺	万博記念公園周辺のエキスポ跡地複合施設及びスタジアムの建設について、交通面で対策が必要なのではないか。	説明会や意見募集において、万博記念公園周辺のエキスポ跡地複合施設及びスタジアムの建設については、主に交通問題を中心に多くのご意見を頂戴したところです。 当該事業については、「吹田市環境まちづくり影響評価条例」に基づく本市独自の環境アセスメント手続きにおいて、複数のアクセス路を設けるなどの交通対策が事業者から示されるとともに、市長意見書を事業者に示し、交通混雑の緩和や省エネルギー、ヒートアイランド対策など、約140項目の環境に配慮した取組を実施させています。また、工事中と完成後に、環境への影響が当初の予測どおりか調査させ、確認することとなっております。 今後も、このような大規模開発事業に対しては、「5-3快適な都市環境の創造」にお示ししている方針に沿って、同条例などに基づき、環境に配慮した取組の誘導を図ってまいります。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
② 岸部市民センター 平成27年1月24日（土）19時～21時			
17	道路	十三高槻線や豊中岸部線はいつ頃完成するのか。	ご指摘いただいた都市計画道路につきましては、大阪府が実施主体であり、具体的な完成時期は未定ですが、「2-1道路・交通施設（2）」にお示ししているとおり、都市計画道路の未整備区間の計画的な整備に向け取り組んでまいります。
18	万博周辺	万博記念公園周辺のエキスポ跡地複合施設及びスタジアムの建設に伴い、JRからモノレールへのアクセスを検討してはどうか。	ご指摘いただいたように、大阪モノレールが国土軸に位置するJR東海道本線と結節していない現状につきましては、公共交通機関のネットワークにおける課題の一つとして認識しているところです。 こうした中、「2-1道路・交通施設（3）」にお示ししているとおり、岸辺駅及び正雀駅周辺のポテンシャル向上や大阪市北東部からのアクセス性の強化、また、本市の広域軸との結節による新たな拠点間のネットワークの形成をめざし、地下鉄今里筋線の延伸に向けた取組を促進してまいります。
19	万博周辺	万博記念公園周辺のエキスポ跡地複合施設及びスタジアムの建設における交通面での影響をどのように考えているのか。	説明会や意見募集において、万博記念公園周辺のエキスポ跡地複合施設及びスタジアムの建設については、主に交通問題を中心に多くのご意見を頂戴したところです。 当該事業については、「吹田市環境まちづくり影響評価条例」に基づく本市独自の環境アセスメント手続きにおいて、複数のアクセス路を設けるなどの交通対策が事業者から示されるとともに、市長意見書を事業者に示し、交通混雑の緩和や省エネルギー、ヒートアイランド対策など、約140項目の環境に配慮した取組を実施させています。また、工事中と完成後に、環境への影響が当初の予測どおりか調査させ、確認することとなっております。 今後も、このような大規模開発事業に対しては、「5-3快適な都市環境の創造」にお示ししている方針に沿って、同条例などに基づき、環境に配慮した取組の誘導を図ってまいります。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
20	道路	岸辺駅南側交通広場の整備において、送り迎え用に一般車両が停車できるスペースを確保すべきではないか。	一般車両の駐停車場所につきましては、既存広場の改修であるため、交通広場のスペースが限られており、設置できておりません。
21	土地利用	大日本インキ（DIC）の跡地の土地利用転換については、市できちんと対応してほしい。	大規模な開発事業につきましては、「開発事業の手続等に関する条例」や「環境まちづくり影響評価条例」に基づき、良好な都市環境の保全及び形成に努めてまいります。
22	子育て	高齢化に歯止めをかけるためにも、子育てしやすい環境を整えてほしい。	「7-1福祉のまちづくり」にお示ししているとおり、既存施設の有効活用や公有地の利活用などによる必要な機能整備に努め、子育てしやすい環境づくりをめざしてまいります。
23	バリアフリ	駅周辺ではバリアフリー化が進んでいるが、そこに至る既存の道路でのバリアフリー化など、人を優先したまちづくりを進めてほしい。	「2-1道路・交通施設(1)」にお示ししているとおり、バリアフリー化整備を進めるとともに、生活道路等では歩行者が安心して移動できる歩行空間の確保や安全対策を推進してまいります。
③ 千里市民センター 平成27年1月26日（月）19時～21時			
24	住宅	人口が減少する中、住宅需要が減っても住みたい、住み続けたいと思われるようなまちづくりを進めてほしい。	今後さらに人口減少や少子高齢化が進行すると予測される中、これまで以上に、住みたい、住み続けたいと思われる、「暮らしに安心と快適性をもたらす定住のまちづくり」をめざしてまいります。
25	道路	救急車の病院へのアクセスや搬送経路などを踏まえた道路ネットワークを形成すべきではないか。 また、電気自動車の充電施設や水素自動車のスタンドなど、将来想定される道路施設の配置なども踏まえる必要があるのではないか。	ご指摘の点を踏まえながら、「2 都市空間の将来像(2)」や「2-1道路・交通施設(2)」にお示ししているとおり、都市間や拠点市街地間を連携する道路ネットワークの形成に努めてまいります。
26	拠点	山田、千里丘地域など、市域東部には拠点市街地が少ないため、茨木市域だが宇野辺駅を拠点市街地として位置付けてはどうか。	宇野辺駅を利用される吹田市民の方が多くおられることは認識しているところですが、宇野辺駅は茨木市域であるため、都市計画マスタープランでは拠点市街地として位置付けておりません。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
27	道路	春日豊津線について、歩道整備などの安全対策を進めてほしい。	説明会や意見募集において、歩行者の安全確保について多くのご意見を頂戴したところです。 「2-1道路・交通施設」にお示ししているとおり、大阪府との連携のもと、安全で快適に利用できるまちづくりを推進するとともに、市域内の交通の円滑化や効率化を図るなど、道路ネットワークの形成に努めてまいります。
28	公共交通	地下鉄今里筋線の延伸について具体的な計画を示してほしい。	都市計画マスタープランは、まちづくりの長期的な目標や方向性をお示しするものであり、具体的な施策については、総合計画や都市計画マスタープランの方針に沿って、今後、各担当部局が、それぞれの個別計画や実施計画に基づき実施していくこととなります。なお、地下鉄今里筋線の延伸につきましては、「2-1道路・交通施設(3)」にお示ししているとおり、岸辺駅及び正雀駅周辺のポテンシャル向上や大阪市北東部からのアクセス性の強化、また、本市の広域軸との結節による新たな拠点間のネットワークの形成をめざして、延伸に向けた取組を促進してまいります。
29	維持管理	これまで多くのインフラ施設を整備してきたが、既存施設を将来的に維持管理できる総量を考慮すべきではないか。今後、予想以上に税収が減少する可能性も考慮すべきではないか。	ご指摘のとおり、既存のインフラ施設の維持管理、更新が大きな課題となっていることから、「2都市施設の整備方針」にお示ししているとおり、未整備の都市計画施設について、その必要性や実現可能性の検証を行いながら、計画的な整備を図ってまいります。
30	道路	大阪高槻京都線では以前より渋滞がマシになったように感じるが、人口減少が想定される中、様々な施設の整備について、その必要性を十分に検証すべきではないか。	ご指摘のとおり、人口減少や少子高齢化など本市を取り巻く社会経済情勢を踏まえたうえで、施設整備のあり方を検証する必要性については認識しているところです。 そのため、「2都市施設整備の方針」にお示ししているとおり、未整備の都市計画施設について、その必要性や実現可能性の検証を行いながら、計画的な整備を図ってまいります。
31	まちづくり全般	アンケートやタウンミーティングでは、地域の身近な要求・要望ばかりになってしまうため、市として十分に検証しながらまちづくりを進めてほしい。	市民の皆様からいただいた多くの貴重なご意見を踏まえ、都市計画マスタープランに沿ってまちづくりを推進してまいります。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
④ 豊一市民センター 平成27年1月27日（火）19時～21時			
32	道路	豊津駅前の交差点は、非常に狭い上に交通量も多い上に、千里山に向かう春日豊津線には歩道が無く、千里丘豊津線も都市計画を廃止してしまったため、豊津駅周辺は交通上問題があると思う。糸田川沿いの道路を相互通行化するなど、改善策を検討すべきではないか。	説明会や意見募集において、歩行者の安全確保について多くのご意見を頂戴したところです。 「2-1道路・交通施設」にお示ししているとおり、大阪府との連携のもと、安全で快適に利用できるみちづくりを推進するとともに、市域内の交通の円滑化や効率化を図るなど、道路ネットワークの形成に努めてまいります。
33	防災	新御堂筋の高架下の空間などを活用して、耐震性防火水槽の整備を進めてほしい。	都市計画マスタープランは、まちづくりの長期的な目標や方向性をお示しするものであり、具体的な施策については、総合計画や都市計画マスタープランの方針に沿って、今後、各担当部局が、それぞれの個別計画や実施計画に基づき実施していくことになります。なお、「4-1市街地の防災性の向上」にお示ししているとおり、耐震性防火水槽などの整備に努めてまいります。
34	にぎわい	企業が江坂周辺のオフィスに入居を検討する際、周辺の夜間照明が暗いことから、社員の安全を考慮して入居が進まないと聞いている。周辺では16m幅員の道路でも36wの街路灯しかなく暗いため、改善した方が良くはないか。	ご指摘いただいた観点も踏まえ、「7-3犯罪や事故の起きにくい市街地環境の整備」にお示ししているとおり、夜間照明や見通しのよい空間構成の工夫などにより、犯罪や事故の起きにくい環境整備に努めてまいります。
35	浸水	以前、糸田川の水位が急激に上昇したことがあったが、洪水対策を進めてほしい。	「2-3水道・下水道・河川（3）」にお示ししているとおり、大阪府の河川事業との連携を図りながら総合的な雨水対策を進めてまいります。
36	浸水	雨水を貯留するためには、農地の保全や開発時における施設整備など計画的に進めるべきではないか。	「2-3水道・下水道・河川（3）」にお示ししているとおり、河川事業との連携を図りながら、雨水の流出を抑制する貯留施設、雨水浸透施設などの設置を促進してまいります。
37	インフラ	里道や水路について、払い下げるのではなく、災害時の避難路などとして活用すべきではないか。	里道・水路につきましては、必要な機能保全を図ってまいります。
38	みどり	農地について、もっと有効に活用するなど、積極的に保全すべきではないか。	「2-2公園・みどり（2）」や「9-13農地が残る地域のまちづくり」などにお示ししているとおり、市民農園などによる有効活用に努め、良好な市街地形成の誘導に努めてまいります。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
39	公共交通	公共交通が不便な地域への対策を進めるべきではないか。	説明会や意見募集において、公共交通機関の利便性向上について多くのご意見を頂戴しており、その重要性については認識しているところです。 「2-1道路・交通施設（3）」にお示ししているとおり、鉄道、路線バス、コミュニティバス等の利便性向上や効率的・効果的な交通サービスの提供に努めるなど、公共交通機関の利用を促進してまいります。
40	都市魅力	歴史資源も含めた吹田の魅力を発信するなど、ふるさと納税が増えるような取組を進めてほしい。	ご指摘の点も踏まえ、「6景観まちづくり方針」や「9-5歴史的な面影が残る地域のまちづくり」にお示ししているとおり、趣のある市街地の継承に努めます。
41	万博周辺	万博記念公園周辺のエキスポ跡地複合施設及びスタジアムについて、来場者に吹田市内でお金を使ってもらうためにも、公共交通の利用促進を図るべきではないか。	ご指摘の点も踏まえ、「2-1道路・交通施設（3）」にお示ししているとおり、鉄道、路線バス、コミュニティバス等の利便性向上や効率的・効果的な交通サービスの提供に努めるなど、公共交通機関の利用を促進してまいります。
⑤ メイシアター 平成27年1月29日（木）19時～21時			
42	インフラ	十三高槻線について、正雀川や阪急千里線の下に地下道を整備したが、高架橋に比べ、照明代や排水ポンプなどメンテナンスに費用がかかってしまうのではないかと。工事費や将来的な管理費を考慮して効率的に整備するべきではないか。	ご指摘の十三高槻線の地下道については大阪府が施工し、維持管理を行っていますが、整備にかかる費用だけでなく、その後の維持管理やメンテナンスに要する費用も勘案する必要性については認識しているところです。 そのため、「2都市施設整備の方針」にお示ししているとおり、都市施設の整備にあたっては、長期的な維持管理・更新について考慮してまいります。
43	道路	千里丘交差点において、交差点付近の建物が空き地になった際に、その土地を利用して拡幅整備するべきだったのではないかと。 千里丘地区における道路整備の方向性を具体的に示してほしい。	「2-1道路・交通施設（2）」にお示ししているとおり、都市計画道路の未整備区間について計画的な整備を推進するとともに、市域内の交通の円滑化や効率化を図るなど、道路ネットワークの形成に努めてまいります。 なお、都市計画マスタープランは、まちづくりの長期的な目標や方向性をお示しするものであり、具体的な事業の実施にあたっては、総合計画や都市計画マスタープランの方針に沿って、今後、各担当部局が、それぞれの個別計画や実施計画に基づき実施していくこととなります。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
44	防災	「建物被害予想結果図」について、算出された前提条件がわかるようにしてほしい。	ご指摘の点を踏まえ、「建物被害予想結果図」に注釈を追記しました。
45	道路	春日豊津線について、都市計画を廃止したとのことだが、幅員が狭く危険な箇所については安全対策を進めるべきではないか。	説明会や意見募集において、歩行者の安全確保について多くのご意見を頂戴したところです。 「2-1道路・交通施設」にお示ししているとおり、大阪府との連携のもと、安全で快適に利用できるみちづくりを推進するとともに、市域内の交通の円滑化や効率化を図るなど、道路ネットワークの形成に努めてまいります。
46	道路	整備中の箕面山田線について用地買収がなかなか進まないようだが、協働によるまちづくりを進めるうえで、地権者や住民の生の声を事業主体の大阪府に届けるような方策をとってほしい。	ご指摘の点も踏まえ、大阪府と連携しながら、「2-1道路・交通施設(2)」にお示ししているとおり、都市計画道路の未整備区間について計画的な整備を推進するとともに、市域内の交通の円滑化や効率化を図るなど、道路ネットワークの形成に努めてまいります。
47	大学	「都市空間の将来像図」に国立民族学博物館を位置付けてはどうか。	ご指摘の点を踏まえ、「地域別索引図」に国立民族学博物館を表記しました。
出前説明会での主なご意見（合計5か所で実施）			
48	公共交通	阪急沿線ではJRへのアクセスがしにくく不便。モノレールとJRとの結節や、山田から千里丘駅までのバス路線が必要ではないか。	ご指摘いただいたように、大阪モノレールが国土軸に位置するJR東海道本線と結節していない現状につきましては、公共交通機関のネットワークにおける課題の一つとして認識しているところです。 こうした中、「2-1道路・交通施設(3)」にお示ししているとおり、鉄道、路線バス、コミュニティバス等の利便性向上や効率的・効果的な交通サービスの提供に努めるなど、公共交通機関の利用を促進してまいります。
49	防災	毎年1月に実施される防災訓練について、もう少し実態を想定した訓練にしてはどうか。	吹田市・吹田市自治会連合協議会合同防災訓練においては、自治会で決めていただいた「緊急避難集合場所」にて災害時要援護者の安否確認や避難人数確認、情報収集や伝達などの訓練を実施したところです。 ご指摘の点も踏まえ、今後も引き続き「地域防災計画」に基づき各種防災訓練を実施してまいります。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
50	みどり	大規模な敷地で土地利用転換が起きた場合に、緑化などを適切に誘導すべきではないか。	「2-2公園・みどり(2)」にお示ししているとおり、開発事業者に対しては、公園・緑地を確保するなど事業地内で豊かなみどりを確保するよう適切な誘導を図ってまいります。
51	浸水	浸水被害への対策を進めてほしい。	「2-3水道・下水道・河川(3)」にお示ししているとおり、大阪府の河川事業との連携を図りながら総合的な雨水対策を進めてまいります。
52	無電柱化	幹線道路などにおいて、無電柱化を進めてほしい。	都市計画マスタープランは、まちづくりの長期的な目標や方向性をお示しするものであり、具体的な施策については、総合計画や都市計画マスタープランの方針に沿って、今後、各担当部局が、それぞれの個別計画や実施計画に基づき実施していくことになります。 なお、電線類の地中化に関しましては、道路の特性や位置づけに応じて、「4-1市街地の防災性の向上」及び「6-3調和とめりはりのある景観の創出と育成」にお示ししているとおり、災害時の道路機能の確保や魅力ある道路景観の形成に努めてまいります。
53	インフラ	都市基盤の整備が遅れている地区があることを十分に認識してマスタープランを進めてほしい。	インフラ施設の整備を進めていく上で、それぞれの地域の現状や様々な課題を踏まえる必要性については認識しているところです。 都市計画マスタープランは、まちづくりの長期的な目標や方向性をお示しするものであり、具体的なインフラ整備につきましては、お示している方向性に沿って、担当部局が、それぞれの個別計画や実施計画に基づき実施していくことになります。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
54	万博周辺	万博記念公園周辺のエキスポ跡地複合施設及びスタジアムの建設について、周辺の住宅地に交通渋滞などの影響が出ないようにしてほしい。	説明会や意見募集において、万博記念公園周辺のエキスポ跡地複合施設及びスタジアムの建設については、主に交通問題を中心に多くのご意見を頂戴したところです。 当該事業については、「吹田市環境まちづくり影響評価条例」に基づく本市独自の環境アセスメント手続きにおいて、複数のアクセス路を設けるなどの交通対策が事業者から示されるとともに、市長意見書を事業者に示し、交通混雑の緩和や省エネルギー、ヒートアイランド対策など、約140項目の環境に配慮した取組を実施させています。また、工事中と完成後に、環境への影響が当初の予測どおりか調査させ、確認することとなっております。 今後も、このような大規模開発事業に対しては、「5-3快適な都市環境の創造」にお示ししている方針に沿って、同条例などに基づき、環境に配慮した取組の誘導を図ってまいります。
55	インフラ	私道であっても、下水道の整備をきちんと進めてほしい。	インフラ施設の整備を進めていく上で、地域特有の課題があることは強く認識しているところです。 こうした中、ご指摘いただいた下水道の整備については、「2-3水道・下水道・河川(2)」にお示しているとおり、全戸水洗化実施をめざして、公共下水道の整備に努めてまいります。
56	開発	大規模な企業用地が開発され、マンションなどが建設されてきたが、周辺住民の住環境を守る取組を進めてほしい。	ご指摘のとおり、特に大規模な開発事業が集中した地区では、開発に伴う様々な影響が生じていることは認識しているところです。 こうした中、住宅地における極端に高さの異なる建築物の混在を抑制するため、平成23年に全市的に絶対高さ制限を導入したところです。 「1土地利用誘導の方針」にお示しているとおり、大規模な土地利用転換に対しては、交通や景観など周辺環境と調和した良好な土地利用の誘導に努めてまいります。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
57	まちづくり全般	歩行者や自転車、自家用車、バスなどの交通量データを踏まえて計画してほしい。	都市計画マスタープランの見直しにあたっては、本市を取り巻く様々な状況変化について調査する中で、道路交通センサスなどの既往のデータをもとに交通量や各駅の乗降者数などのデータについて把握したところです。 なお、具体的な事業の実施の際には、必要に応じて、ご指摘いただいたようなより詳細のデータについて収集及び分析を行っているところです。
58	拠点	千里丘駅は「拠点市街地」に位置づけられていないが、吹田市民の利用が多い西側について整備を進めてほしい。	千里丘駅西側につきましては、摂津市が交通広場や道路を都市計画決定しており、その整備に向け再開発準備組合が設立されたとお聞きしています。
59	道路	吹田徳洲会病院前の市道（千里丘中央線）は交通量が多く危険なため歩道を整備してほしい。	説明会や意見募集において、歩行者の安全確保について多くのご意見を頂戴したところです。 「2-1道路・交通施設(1)」にお示ししているとおり、歩行者や自転車等の安全で快適な交通確保のため、歩行者が安心して移動できる空間の確保や安全対策を推進してまいります。
60	地域特性	地域ごとの特徴や方向性をもっと詳しく記述すべきではないか。	地域特性を生かしたまちづくりを進めていく上で、それぞれの地域の現状や様々な課題を踏まえる必要性については認識しているところです。 「見直し原案」では、第3章でテーマ別の方針に加え、拠点となる市街地のまちづくり方針や、戸建専用住宅や地形に起伏のある地域のまちづくりなど、地域特性を生かしたまちづくり方針をお示ししています。 また、住民の皆様がより身近な範囲のまちづくりを進めることができるよう、街区や町内、小学校区など適切なまとまりのある地区において、将来像やビジョンなどを位置付ける新たな「地区まちづくり構想」制度を創設するなど、地域特性を生かしたまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
61	公共施設	公民館など市民が集まれる施設を整備してほしい。	都市計画マスタープランは、まちづくりの長期的な目標や方向性をお示しするものであり、具体的な施策については、総合計画や都市計画マスタープランの方針に沿って、今後、各担当部局が、それぞれの個別計画や実施計画に基づき実施していくことになります。 なお、「見直し原案」では、「2-4その他の都市施設(4)」に、市民生活を支える公共施設における既存施設の有効活用や必要な機能整備についてお示ししております。
62	バリアフリ	駅周辺や歩道橋など、高齢者が増えているなか、エレベーターの設置などバリアフリー化を進めてほしい。	「7安心のまちづくり方針」の「基本的考え方」にお示ししているとおり、ユニバーサルデザインの理念に基づいて、全ての人が自由に移動し、自らの意思で社会に参加できる都市環境の整備に努めるとともに、「バリアフリー基本構想」に基づき、生活関連経路等の歩道等のバリアフリー化を推進してまいります。
63	構成	「まちづくりの課題」は、総合計画に示してある課題と整合するとともに、都市計画としての課題を具体的に記載すべきではないか。	「見直し原案」におきましては、第3次総合計画にお示ししている課題との関係性に留意するとともに、本市を取り巻く様々状況変化などから「都市計画マスタープラン」において踏まえるべき「まちづくりの課題」をお示ししています。
64	構成	図面の表題について、何年現在のものを明記すべきではないか。また、現況図なのか構想図なのかわかりにくいものがあるため、明確にしてほしい。	ご指摘の点を踏まえ、図面の表題について一部修正しました。

No	分類	「見直し原案」へのご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
65	拠点	北千里駅周辺について、もっと便利になるよう、商業施設の活性化や公民館の整備などを進めてほしい。	北千里駅周辺は、設立から約45年、リニューアルから約20年を経過し、施設の老朽化や新たな大規模商業施設等の立地により、厳しい商業環境の変化にさらされています。隣接する住区では、公的賃貸住宅をはじめとする建替え等により人口や世帯数の変化がみられる他、一般財団法人大阪府タウン管理財団の所有地処分計画が公表されるなど、当該地区センターの取り巻く社会環境が変化しています。 こうしたことから本市では、平成26年度から平成27年度の2箇年において、現状分析や市民の方々へのアンケート調査を基に、多様な主体と「（仮称）活性化ビジョン」の策定に向け、取り組んでいるところです。
66	無電柱化	マンションなどの建設工事において、前面道路を全面的にやりかえる際に、同時に無電柱化を進めるべきではないか。	都市計画マスタープランは、まちづくりの長期的な目標や方向性をお示しするものであり、具体的な施策については、総合計画や都市計画マスタープランの方針に沿って、今後、各担当部局が、それぞれの個別計画や実施計画に基づき実施していくことになります。 なお、電線類の地中化に関しましては、道路の特性や位置づけに応じて、「4-1市街地の防災性の向上」及び「6-3調和とめりはりのある景観の創出と育成」にお示しているとおり、災害時の道路機能の確保や魅力ある道路景観の形成に努めてまいります。
67	公共交通	路線バスだけでなく、コミュニティバスなど、高齢者が移動しやすい環境を整えてほしい。	説明会や意見募集において、公共交通機関の利便性向上について多くのご意見を頂戴しており、その重要性については認識しているところです。 「2-1道路・交通施設（3）」にお示しているとおり、鉄道、路線バス、コミュニティバス等の利便性向上や効率的・効果的な交通サービスの提供に努めるなど、公共交通機関の利用を促進してまいります。